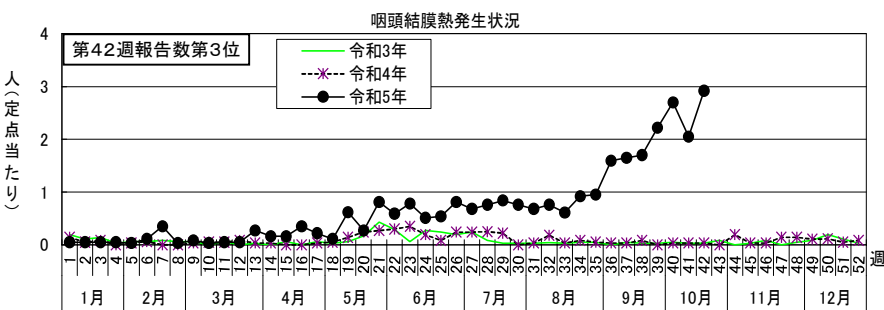
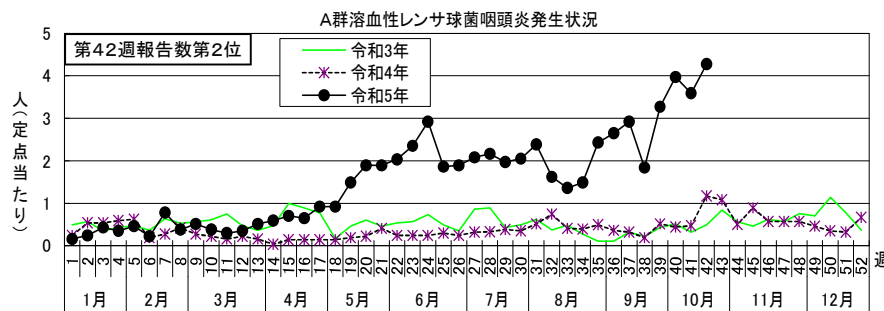
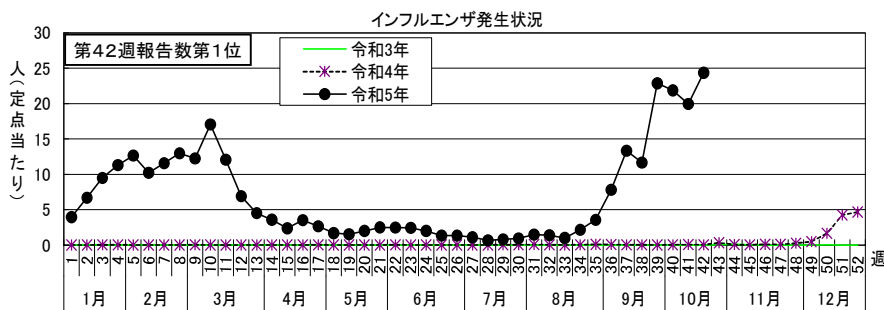


# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

令和5年10月16日（月）～令和5年10月22日（日）〔令和5年第42週〕の感染症発生状況

第42週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3）咽頭結膜熱でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は24.34人と前週（19.92人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は4.27人と前週（3.59人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。咽頭結膜熱の定点当たり患者報告数は2.92人と前週（2.05人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

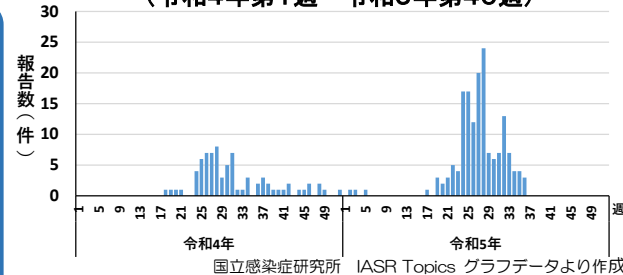


## 知っていますか？～ヒトパレコウイルスA3型による感染症～

ヒトパレコウイルスは軽症の胃腸炎や風邪等の原因となるウイルスで、夏から秋にかけて多く検出されます。ヒトに感染するといわれているA1型からA3型のうち、A3型は生後3か月未満の乳児における敗血症や脳炎の原因となることが知られています。乳児の重症例にみられる特徴的な症状として、哺乳不良、頻脈、網状チアノーゼ（皮膚の色が網目状に悪くなる）や腹部膨満等があります。また、成人においては、同じ型で感冒様症状とともに全身の筋肉痛を呈する流行性筋痛症がみられることもあります。

ヒトパレコウイルスは、家庭内で飛沫や接触により感染することが多いとされていますので、家族に感冒様症状がある場合は、小さいお子さんの体調にも十分注意するようにしましょう。

全国のヒトパレコウイルスA3型週別検出報告数（令和4年第1週～令和5年第40週）



### ヒトパレコウイルスA3型感染症とは？

#### 【感染経路】

飛沫感染、接触感染



#### 【症状】

高熱、哺乳不良、頻脈、咳、網状チアノーゼ（皮膚の色が網目状に悪くなる）、腹部膨満等  
※生後3か月未満の乳児において、敗血症や脳炎の原因となることがある。  
※成人は感冒症状に加え、全身の筋肉痛（流行性筋痛症）を呈することがある。

#### 【予防対策】

手洗い、手指消毒、マスク着用など

ヒトパレコウイルスA3型による流行性筋痛症は、筋肉の痛みが上腕や大腿に出現することが多いのが特徴で、30歳代を中心とした若い男性に多くみられます。

